

## 調査概要

### 1 調査テーマ

妊娠期から育児期における家族のQOLと子育ての環境との関連性、生活の実態など

### 2 調査方法

郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

### 3 調査時期

2011年11月（第1回調査 2006年11月）

### 4 調査対象

第1子を妊娠中（後期）の妻・夫  
満0～2歳の第1子（ひとりっこ）を持つ妻・夫

### 5 調査地域

日本全国

### 6 サンプル数

調査年	配布数・回収数	有効回答数【妻】		有効回答数【夫】	
2006年（第1回）	配布16,000通 回収 5,773人 回収率 36.1%	妊娠期	728	妊娠期	575
		育児期	1,860	育児期	1,316
		0歳児	832	0歳児	602
		1歳児	623	1歳児	438
		2歳児	405	2歳児	276
2011年（第2回）	配布16,000通 回収 5,425人 回収率 33.9%	妊娠期	907	妊娠期	684
		育児期	1,843	育児期	1,303
		0歳児	872	0歳児	632
		1歳児	568	1歳児	403
		2歳児	403	2歳児	268

※回収数と有効回答数が異なるのは、ひとりっこのみを分析対象にしたためである。

### 7 調査項目

妊娠・出産の経緯、親になる準備、妻（母）の子育て意識・行動、夫（父）の子育て意識・行動、親と子のQOL、祖父母のかかわり、託児、地域でのつきあい、情報源、相談相手、職場環境、子育て環境・支援制度 など

※第1回調査および、フォローアップ調査（4年間の縦断調査）の結果は、ベネッセ次世代育成研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.benesse.co.jp/jisedaikin/>

## 本調査の特徴

### 1. 5年間の経年変化がわかる。

- 本調査は、時系列での変化を把握することを目的として設計している。第1回調査と同一の項目を用いているため、5年間の変化をとらえることができる。

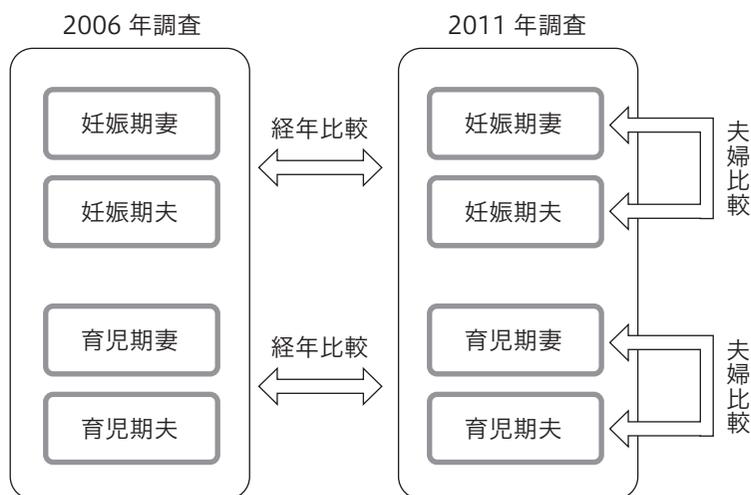
### 2. 妊娠期～育児期の夫婦の意識・現状について、幅広い内容の質問項目により多面的に把握することができる。

- 妊娠・出産の経緯、子育て意識、QOL、地域でのつきあい、祖父母とのかかわりなど、乳幼児の生活に関する幅広い内容を調べている。
- 国際連合世界保健機関（WHO）が開発した『WHO QOL 26』を取り入れ、世界標準での比較もできる設計になっている（質問項目の使用にあたっては、出版元である株式会社金子書房の許可を得ている）。

### 3. 妊娠期～育児期の夫婦の意識・現状について、全国を対象とした大規模なサンプル数で把握できる。

- 調査票を世帯単位で配布したため（回収は別々）、同一世帯で妻・夫ともに回答したケースにしばって、夫婦間の相違を分析することができる。

## 分析の枠組み



※報告書内、各属性を図内の呼称で示している。経年比較した場合は、図表に「経年比較」と示している。

※2006年（第1回）のデータは、本報告書の制作にあたり、2011年（第2回）調査のデータクリーニングと同じ観点で、再度クリーニングを行ったため、『第1回妊娠出産子育て基本調査報告書』（2007年10月既刊）とは一部の数値が異なることがある。

※本報告書で使用している百分率（％）は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。

## 基本属性

とくに注記がない場合、有効回答数は以下のとおりである。

妊娠期妻 … 2006年 728名、2011年 907名

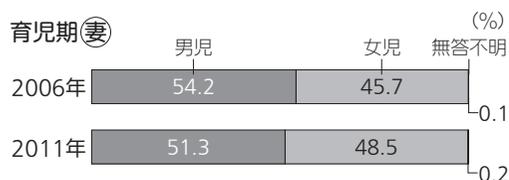
妊娠期夫 … 2006年 575名、2011年 684名

育児期妻 … 2006年1,860名、2011年1,843名

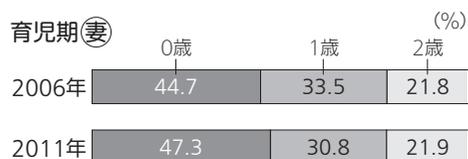
育児期夫 … 2006年1,316名、2011年1,303名

### A. 子どもの属性

図A-1 子どもの性別（経年比較）

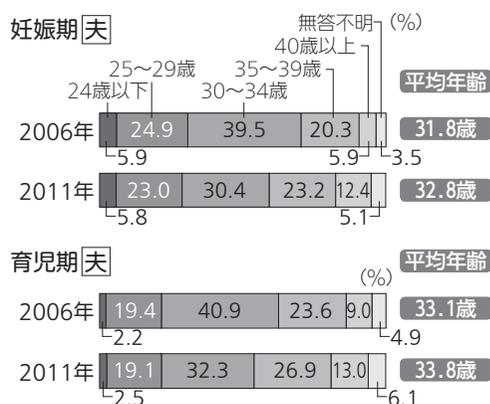
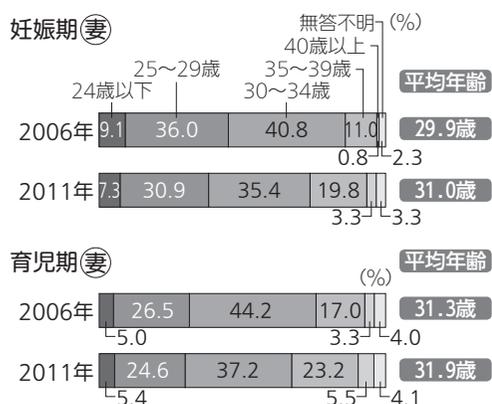


図A-2 子どもの年齢（経年比較）



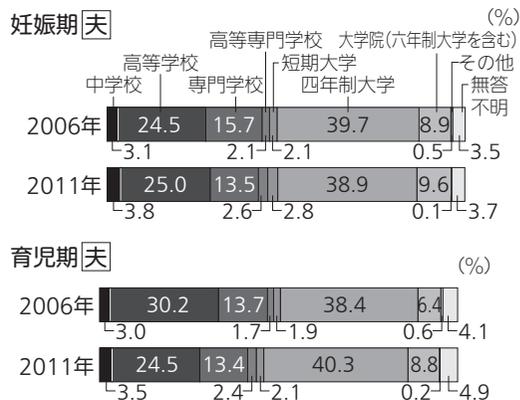
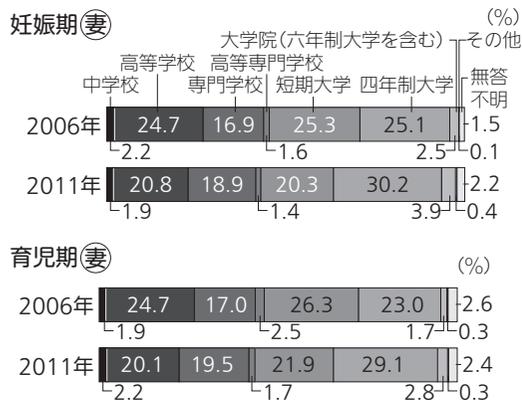
### B. 夫婦の属性

図B-1 回答時年齢（経年比較）



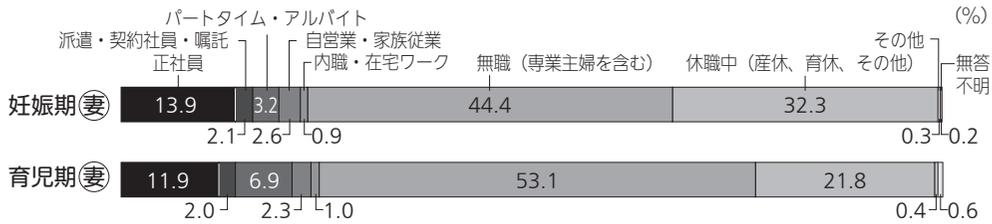
注) 平均年齢は無答不明を除いて算出した。

図B-2 最終学歴（経年比較）



基本属性

図 B - 3 妻の就業形態 (2011年)



C. その他

図 C - 1 居住地域 (経年比較)

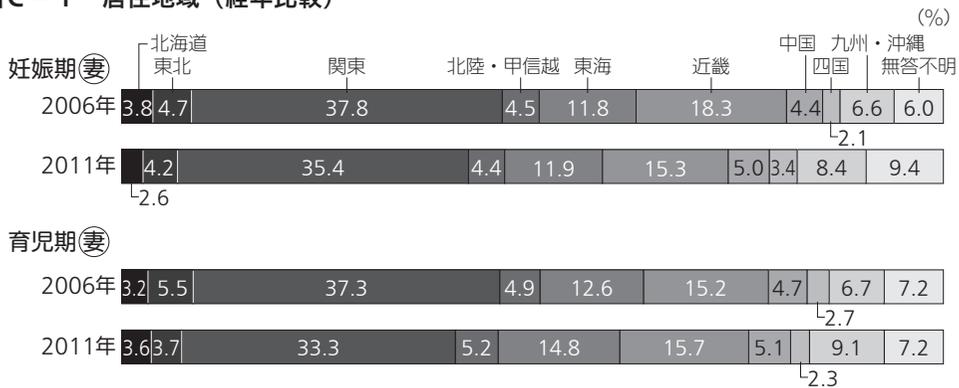


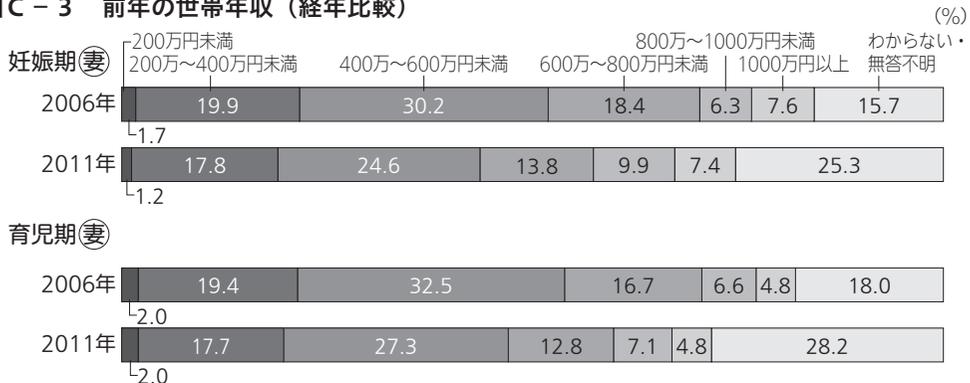
図 C - 2 居住地の人口規模 (2011年)



注) 回答者が回答した居住地の郵便番号から市区町村を特定し、人口を算出している(総務省統計局編『統計でみる市区町村のすがた2012』、2010年の人口データを使用)。

- 「特別区・指定都市」…特別区(東京23区)および2011年11月現在の政令指定都市19市。
- 「15万人以上」…特別区・指定都市を除いた人口15万人以上の市町村。
- 「5万~15万人未満」…人口5万人以上15万人未満の市町村。
- 「5万人未満」…人口5万人未満の市町村。

図 C - 3 前年の世帯年収 (経年比較)



注) 「わからない」は2011年調査のみの項目。